



真龍小便い

【学校の教育目標】
☆心と体をきたえる子
☆美しい心をもつ子
☆考えて行動する子
☆生き生きと学ぶ子

No.13 令和4年1月31日発行

次のステージに向けて

校長 佐野 哲 哉

冬休みが明け、1月18日から後期第2ステージがスタートしましたが、3日後の1月21日（金）、さらにその2日後の1月23日（日）、本校関係者が新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明し、釧路保健所の見解や北海道教育委員会の通知を踏まえ、学校と町教育委員会が連携のもと6学年、4年月組、2年月組の学年・学級閉鎖を1月28日（金）まで行いました。この間、保護者の皆様には様々な不安とご心配をおかけするとともに、お子さんの健康観察や心身のケア、生活や学習の見守り、ご家族の出勤等の是非の判断など様々な点でご対応をいただき、ご協力賜りましたことに心より感謝申し上げます。閉鎖期間を経て、その後の感染拡大がないことや、学校・地域の感染状況を踏まえ、本日1月31日（月）から6学年、4年月組、2年月組の子どもたちも元気に登校しています。子どもたちの生き生きした表情から友達と一緒に過ごす楽しさや嬉しさが見て取れます。一方でだれの心の中にも感染に対する不安は存在し、その不安を抱えながら登校している子、不安やおそれから登校を控える子もいます。学校はこのような状況をしっかりと受け止め、子どもたちに学校の感染症対策について説明することや、不安を抱えた児童に対応した教育相談を行うなど、子ども一人一人の気持ちに寄り添い、安心して登校し学校生活に取り組めるよう努めてまいります。学校ではこれまで同様、手指の消毒やマスクの着用、換気、身体的距離の確保、児童の体調観察、感染リスクを低減した学習活動の工夫など感染症の予防を徹底してまいります。各ご家庭におかれましても引き続き予防に努めていただくとともに、児童本人や同居するご家族に風邪症状が見られる場合は登校・外出を控え、医療機関への相談・受診や健康観察をお願いいたします。また、もしお子さんや同居するご家族が新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明した場合は、すぐに学校へ連絡をお願いします。道内全域に感染拡大が広がり、1月27日（木）から北海道にも「まん延防止等重点措置」が適用されました。自分や自分の周りの大切な人の命や健康、安全を守るために、私たち一人一人が今できること、今やるべきことに取り組むことが大切です。例えば、マスクの着用、手指消毒、換気などの基本的な感染防止対策を徹底することや、混雑している場所への外出を控えるなど、感染リスクを意識した行動を心がけていきましょう。

今回の学年・学級閉鎖期間中に子どもたちの“芽吹き”も見られました。感染リスクを減らすため学年や学級をまたぐ縦割り清掃を中止し、学級ごとの清掃に切り替えましたが、それぞれの学級の掃除がとてもテキパキと上手に行われています。特に低学年1・2年生は自分たちで掃除を進める姿が生き生きしていて微笑ましく、ホウキやちり取りを上手に使ったり、雑巾を器用にしばったり、重たい机や椅子をがんばって運んでいる様子はとても頼もしいです。これまで縦割り清掃で高学年が示してくれた掃除の進め方や先輩が教えてくれた掃除の仕方、道具の使い方を身に付けてきたからこそ芽吹いた力だと私は思います。また、6年生が留守の間、5年生が廊下や階段、体育館やホールなどの掃除を自主的・積極的に行ってくれました。4月から最高学年となる5年生の子どもたちの意識の育ちをうれしく感じています。

明日から2月を迎えます。1年の総まとめのこの時期に子どもたちにがんばってほしいことは、次のステージに進むための準備を進めること。6年生は3月の卒業式、4月中学生になったときどんな自分でいたいのか、5年生はどんな最高学年の姿をめざすか、1～4年生は3月の修了式、4月進級したときどんな自分でいたいのか、「なりたい自分」のイメージを持って、その実現に向けて今やるべきことにしっかり向き合っており取り組んでほしいと思います。

本校の子どもたちが次のステージで自分の力を発揮しながら、未来を切り拓く資質や能力を育ていけるよう、残り2ヶ月、個々の子どもの目標の実現に向け、教職員一丸となって指導にあたっていきます。本年もご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

日	曜	2月の主な行事
1	火	短縮日課
2	水	短縮日課 放課後学習 朝読書回収日
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	児童朝会⑨ 基礎学力テスト(～10日)
8	火	短縮日課 ブックトーク5月
9	水	短縮日課 ブックトーク4月 4雪
10	木	ブックトーク6月 3月
11	金	建国記念の日
12	土	
13	日	
14	月	児童朝会
15	火	短縮日課
16	水	短縮日課 放課後学習
17	木	児童総会(3～6年)
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	短縮日課
23	水	天皇誕生日
24	木	
25	金	交通安全指導日 6年生を送る会 卒業読み聞かせ(6年)
26	土	
27	日	
28	月	講話朝会 真小学びの約束振り返り

「ながら見守り」のお願い

児童の下校時刻に合わせて、また夏冬休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

学びに向かうスタイル③開始

1月31日(月)から、学びに向かうスタイル③が開始されます。今回の重点は、「聞く姿勢を身につけよう」です。真龍小学校として次のことを指導していきます。

- ① 口をとじる ② 手をおく ③ 相手を見る
- ④ 反応する(うなずく・つぶやく)
- ⑤ 話をよくつかむ(自分の考えをもつ・質問)

これまでの「姿勢」「テストスタイル」と合わせて、子ども達に定着させることで理解力を高め、児童一人一人の確かな学びにつなげていきます。

いくつかの行事を中止します

北海道にまん延防止等重点措置が適用されたことに伴い、2月に予定していた以下の行事を中止とすることを判断しました。

- ① 2月 3日(木): 新1年生1日入学
- ② 2月 4日(金): 真龍中学校1日入学
(①②: 保護者説明会は資料配布による誌面開催)
- ③ 2月 7日(月): 参観日 3・4年
- ④ 2月 9日(水): 参観日 5・6年
- ⑤ 2月10日(木): 参観日 1・2年
(懇談資料は、後日お渡しします。)

⑥ 2月16日(水): 第5回PTA役員会・第2回専門部会(今後の対応については、後日お知らせいたします。)
その他の行事につきましても、他学年との交流を控えた形で行っていく予定です。

冬休み作品展が行われました

冬休みが終わり、学校では冬休み作品展が行われました。どの作品も、冬休み中の頑張りが伝わってくるものでした。



コロナ禍の中、子ども達の力作は学校を明るくしてくれました。

子ども☆未来ミーティング

12月28日(火)に、『厚岸子ども☆未来ミーティング』が行われました。この会議は、町内の小中高の児童会・生徒会の代表が集まって、よりよい社会の創造するためにできることは何かを話し合う目的で行われています。本校からは、6年生の代表委員から石嶋健人さん、蔵谷凌志さんの2名が参加し、情報端末の使用に関わるネットモラルや家庭内の使用ルールの確立、ノーメディアデーの設け方について発表しました。

環境パネル展・ECO 発表会

冬休み作品展で展示した自由研究や工作の中から、私たちを取り巻く環境について考えるきっかけとなる作品(「自然素材を使った工作」「環境について調べたこと」など)を厚岸町のECO発表会に出品します。

お時間のある方は、ご覧ください。

<日時> 2月3日(木)～9日(水)

※最終日9日は14時まで

<場所> 生活改善センター

学年・学級閉鎖後の授業について

1月21日、24日～28日の間、実施された学級閉鎖に伴い、学校全体で国語、算数などの授業を進めない措置を取っていましたが、学年学級閉鎖が解かれましたので、今後は全学級で通常の学習が展開されることとなります。

学校では学年末に向け、残された学習内容の確実な指導を行い、子ども達に確かな学力を定着させ、今年度の学習の締めくくりを行います。

iPadを持ち帰っています

新型コロナウイルス感染症の感染者急増に伴い、北海道にまん延防止等重点措置が出されています。そのため、学校では不測の事態に備え子供たちの学習を保障するため、iPadの持ち帰りを実施しております。これに伴い、学校で充電する時間を確保できないため、家庭に充電器を持ち帰り、夜間を利用しiPadの充電もお願いしております。

また、iPadは常に学校で使用いたしますので、登校時に持ち忘れないよう、お子さんに声掛けをしていただきますようお願いいたします。

これまでとは異なり、iPadの管理の面で、保護者の皆様にはお手数をお掛けしておりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

コロナ禍の中...

北海道全域で、これまで例をみないほどの勢いで、感染者が増加しております。この事態を受け、学校では、「密を避けること」「手洗いや消毒を徹底すること」「換気をするなど」など、再度基本に立ち返り、感染症対策を進めていきます。

各家庭におかれましても、子どもたち一人一人が規則正しい生活をおくり、コロナに負けない体をつくるなど、子ども達の健康管理をお願いします。

家庭と学校が協力して、子どもの健康や安全を守る取り組みを進める中で、この難局を乗り越えていきましょう。

真龍小学校便り おすすめ本(R4.2月号)

『トラのじゅうたんになりたかったトラ』

ジェラルド・ローズ/文・絵(岩波書店)

学校司書 小島 郁子

今年は寅年です。

トラは、アジアの中部から南部に広く生息するネコ科で最大の動物で、ライオンのように群れずに一頭で狩りをします。一見派手に見える黄色と黒のシマシマ模様は、実は林や草むらの中で保護色になる優れた模様なのです。

トラが出てくる話はインドや韓国のお話に多く、おそろしいことに、たいていは人喰いトラが主人公です。トラは人を襲う動物としておそれられているようです。

この絵本の舞台もインドです。

年老いてやせこけたトラが、王様の宮殿での暮らしにあこがれ、トラの毛皮のじゅうたんと入れ替わる事を思いつきます。トラは自分が生きることがいけないように、ほこりを取るためにバンバン棒ではたかれても、ゴシゴシ石けんで洗われてもピクリとも動かず、必死に我慢していました。ところが、ある日の夜、宮殿に泥棒が忍び込みます! 王様に刃物を突きつけた泥棒を見たトラは、矢も盾もたまらず立ち上がり、あたりにとどろくような声で吠えました。生きることがばれてしまったトラは、さて、どうなったでしょうか・・・

突拍子もないトラの思いつきと、宮殿での安泰な暮らしを守るのに必死なトラの様子がユーモラスに描かれています。

学校図書館と情報館に所蔵があります。

